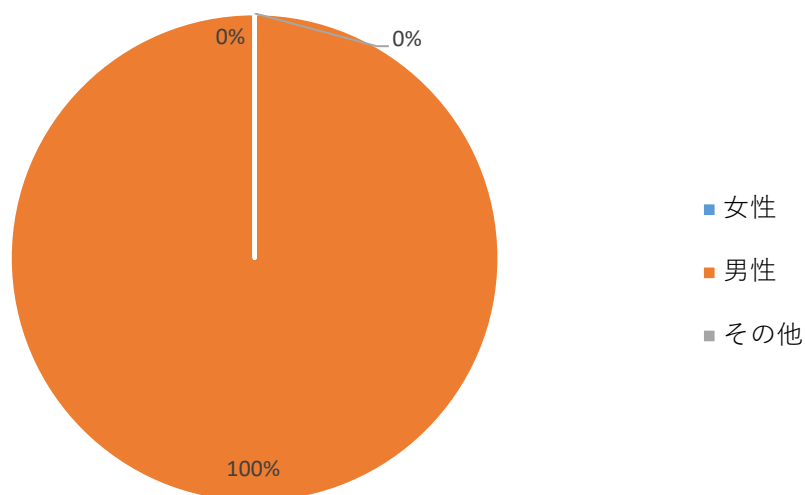


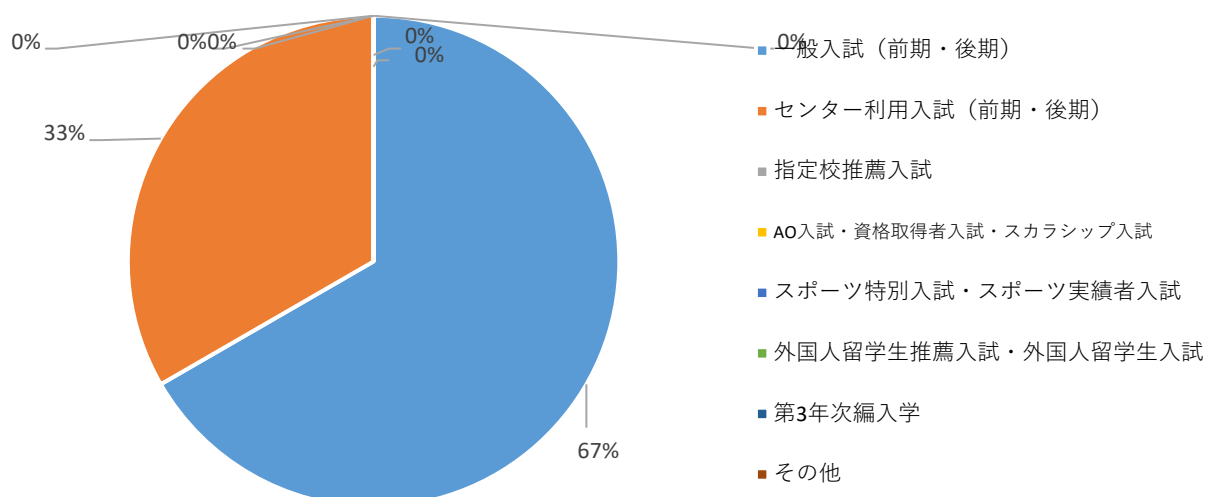
2025年度コミュニケーション学部卒業時アンケート

調査対象： 2025年9月卒業生 4名
 調査実施期間： 2025年9月1日～9月30日
 回答数： 3件
 回答率： 75.0%

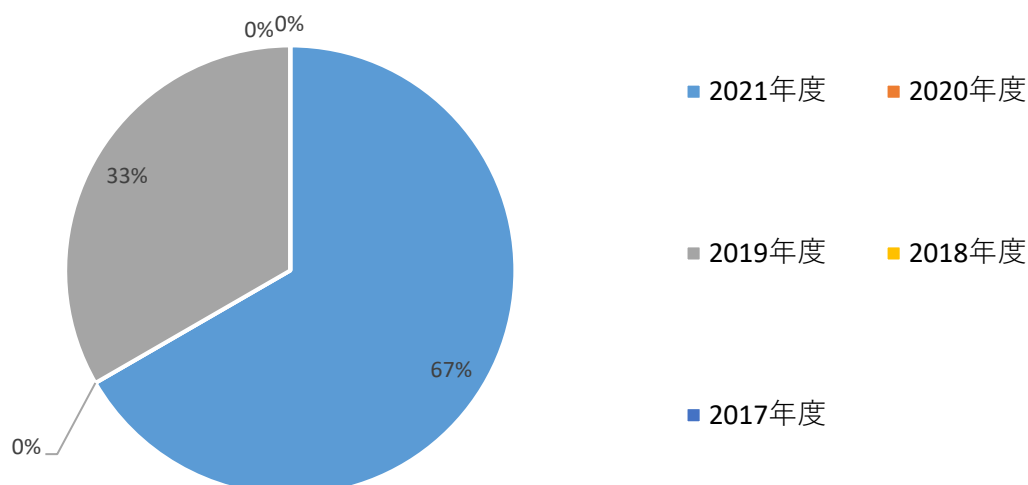
設問1 あなたの性別をお答えください。



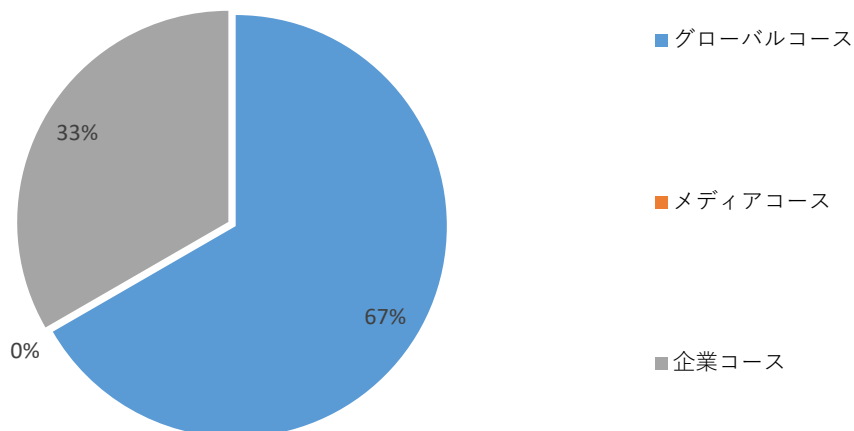
設問2 あなたはコミュニケーション学部にどのような試験制度で入学しましたか。



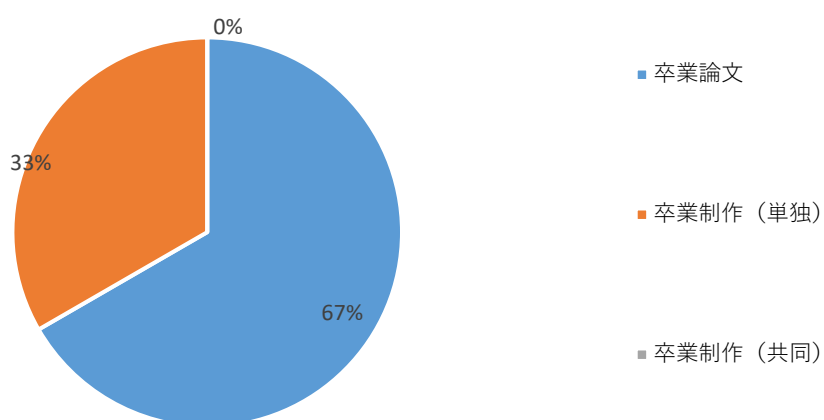
設問3 あなたの入学年度（編入学の方は編入学年度）はいつですか。



設問4 あなたは学部でどのコースに属していましたか。

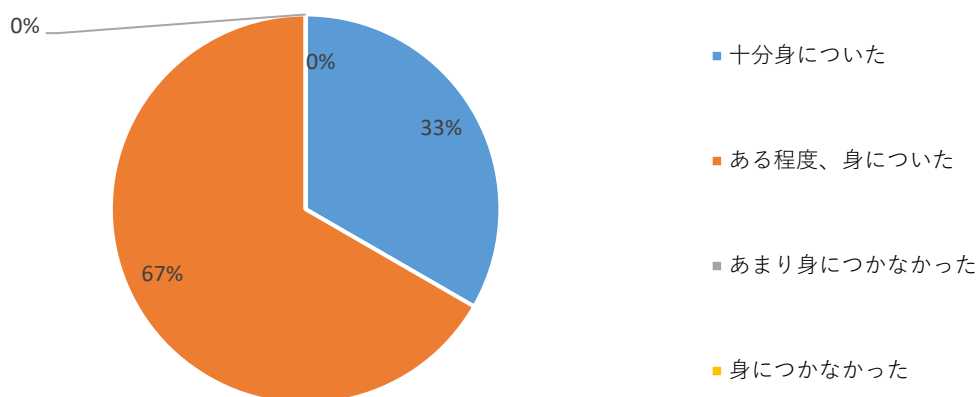


設問5 あなたは「卒業研究」をどの区分で提出しましたか。

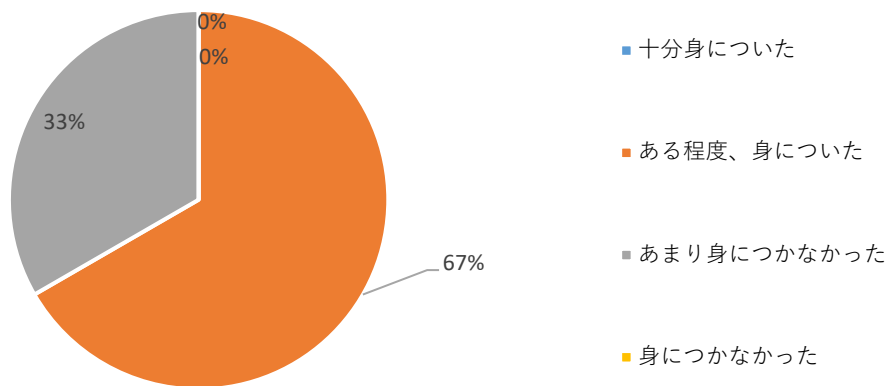


大学での学修を終えた現在のあなた自身の自己評価として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

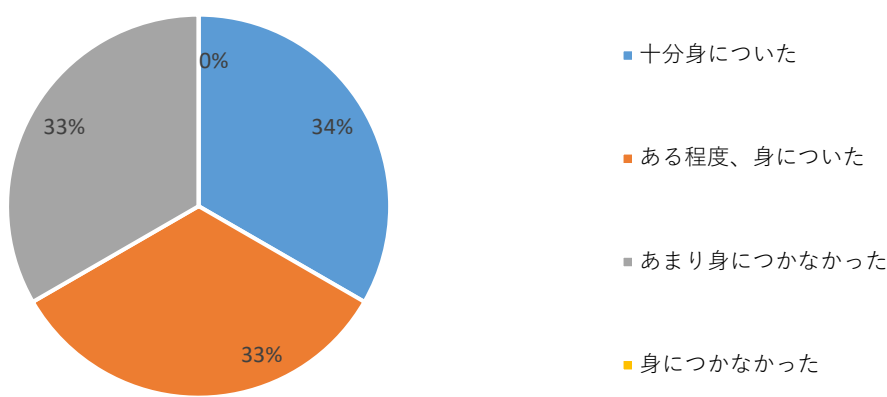
設問6 「人間・社会・言語・自然」についての教養



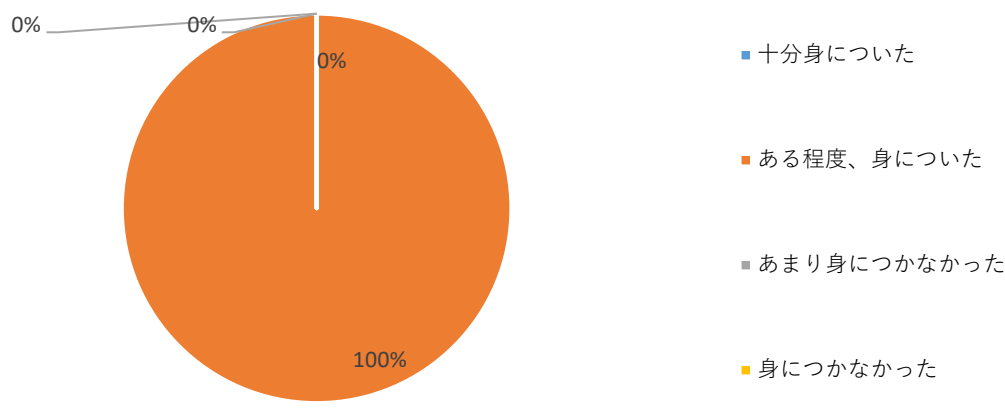
設問7 他者との対話力



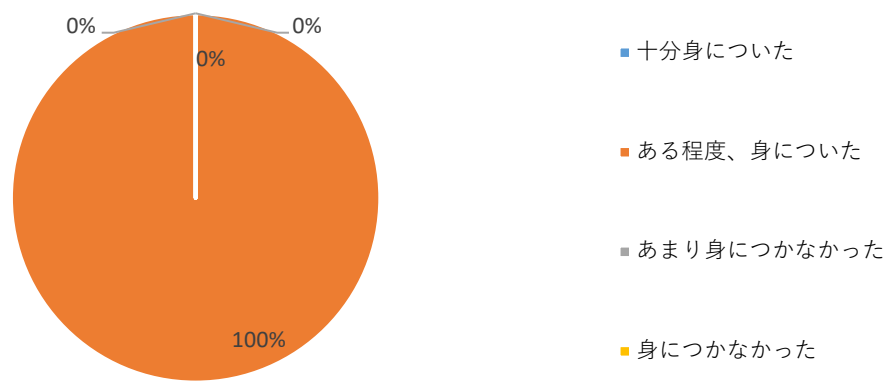
設問8 他文化との対話力



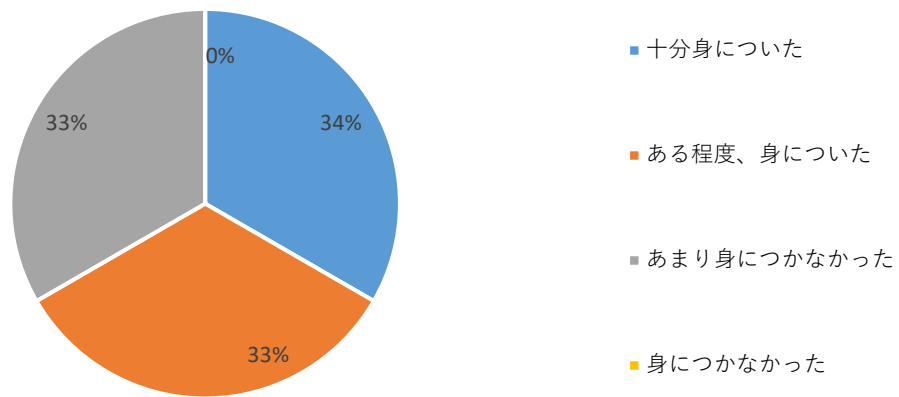
設問9 メディアに関する知識



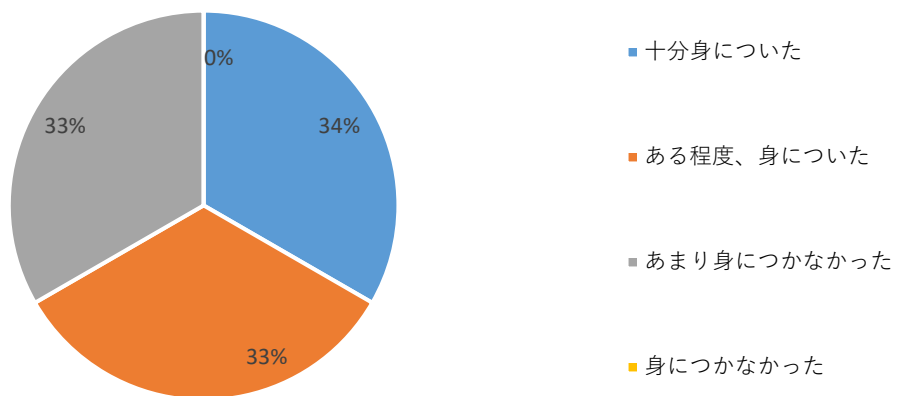
設問10 情報を分析・評価する能力



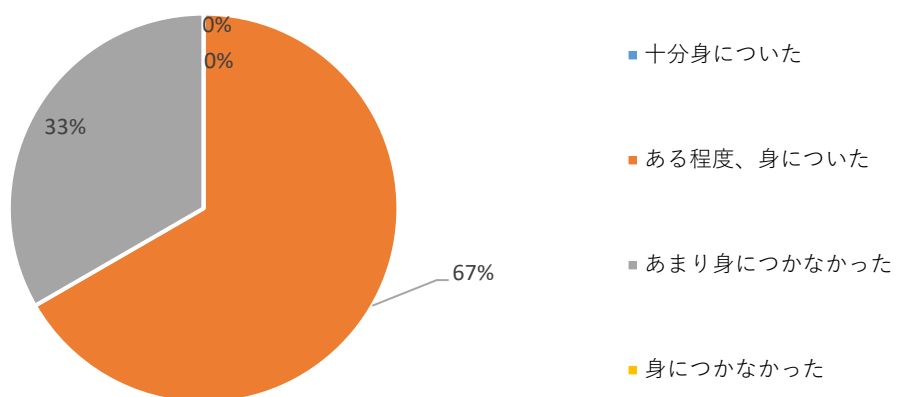
設問11 コミュニケーションに関わる事柄での問題を発見する能力



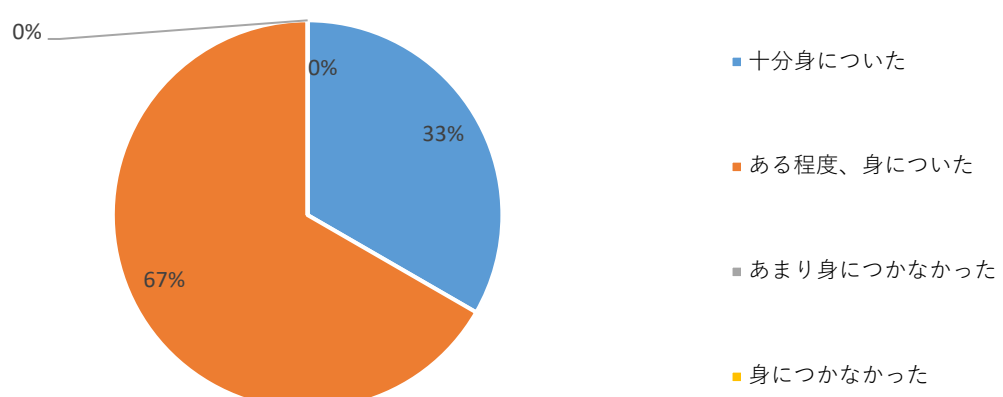
設問12 コミュニケーションに関わる事柄での問題を分析・解決する能力



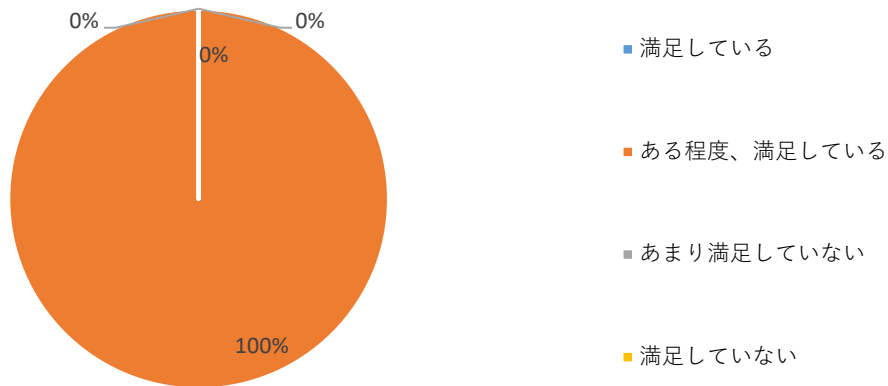
設問13 自分の考え・アイデアを表現する技能



設問14 自分の考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能

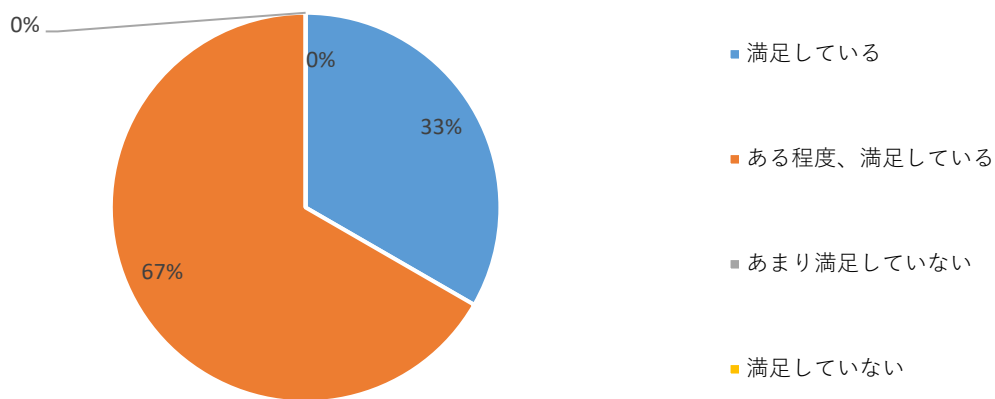


設問15 在学期間を振り返ってみて、あなたはコミュニケーション学部での学修にどの程度満足して

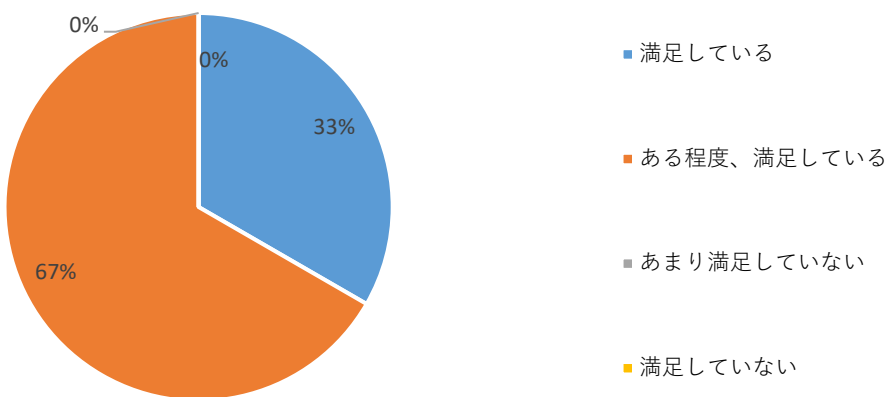


入学後の総合的な満足度として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

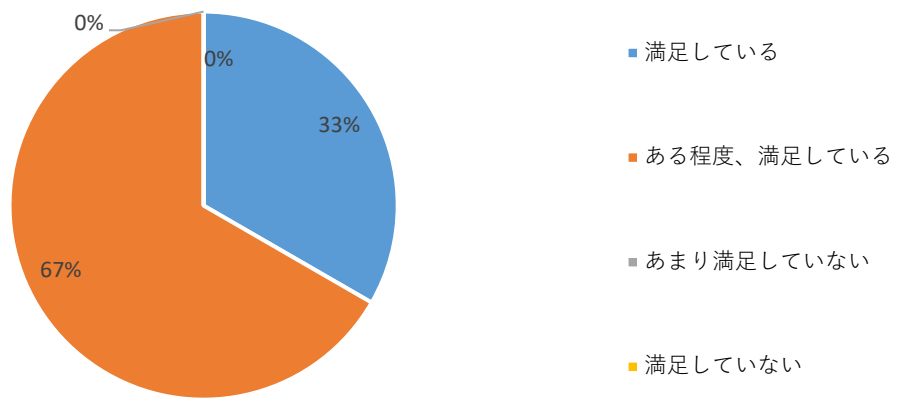
設問16 学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育



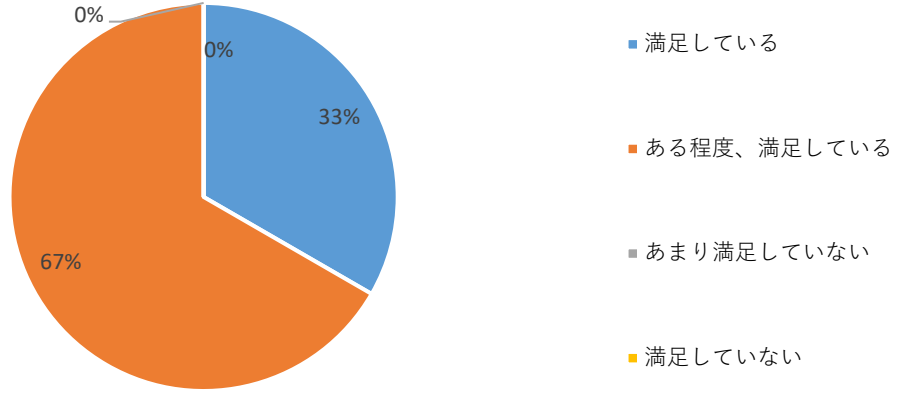
設問17 総合教育科目に関わる教育



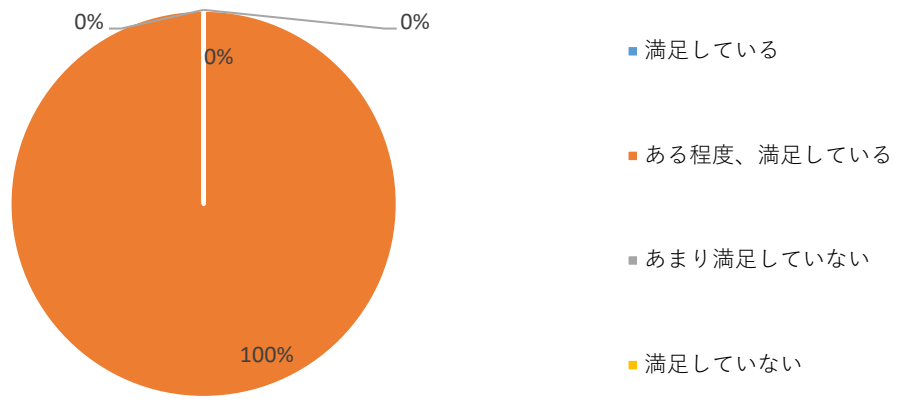
設問18 「演習」



設問19 カリキュラム全般



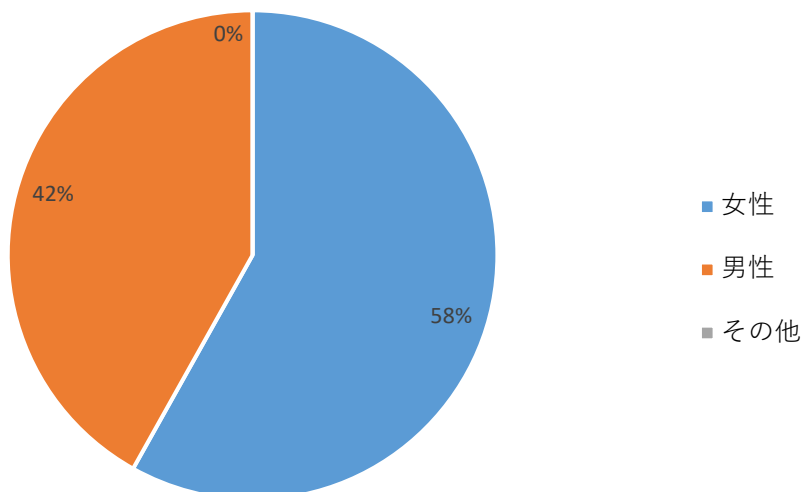
設問20 就職活動支援



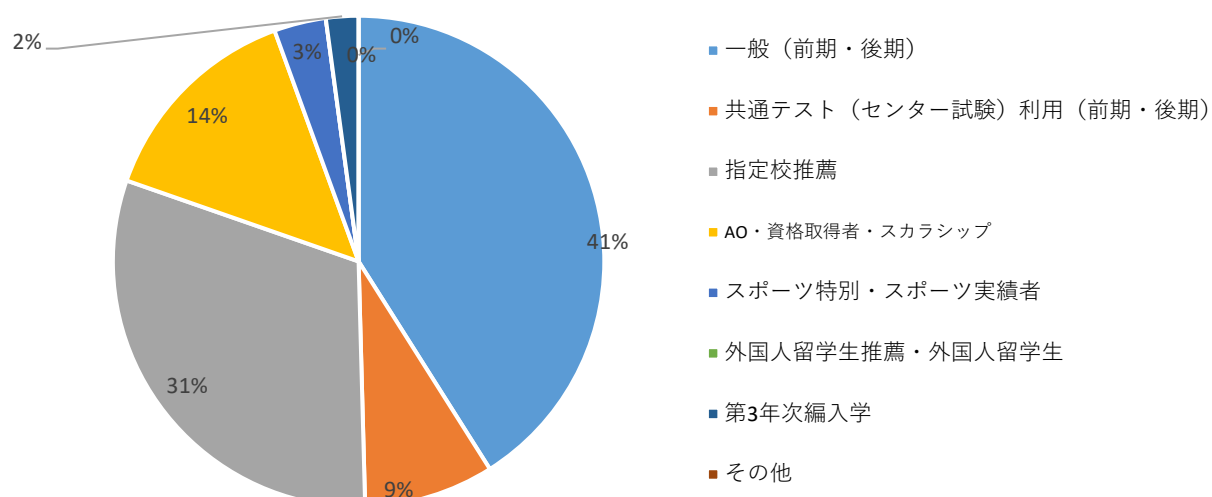
2025年度コミュニケーション学部卒業時アンケート

調査対象： 2026年3月卒業生 246名
 調査実施期間： 2026年3月2日～3月31日
 回答数： 234件
 回答率： 95.1%

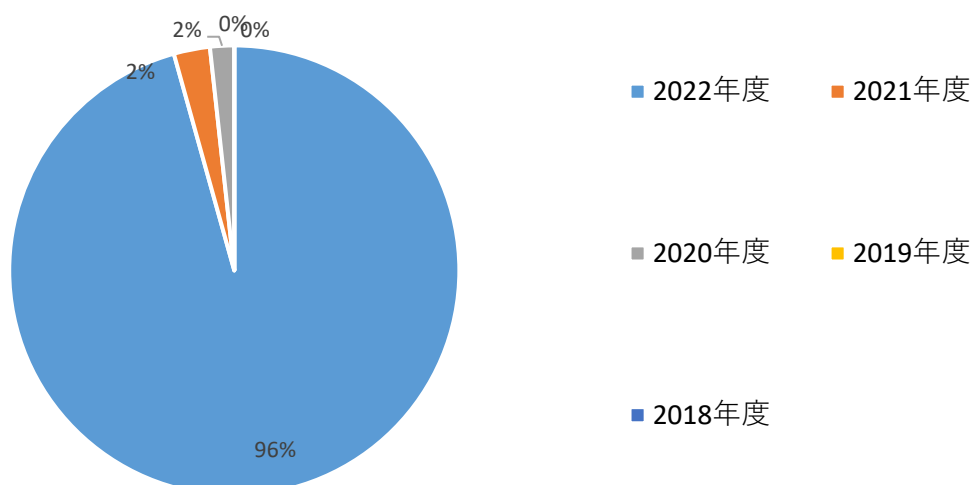
設問1 あなたの性別をお答えください。



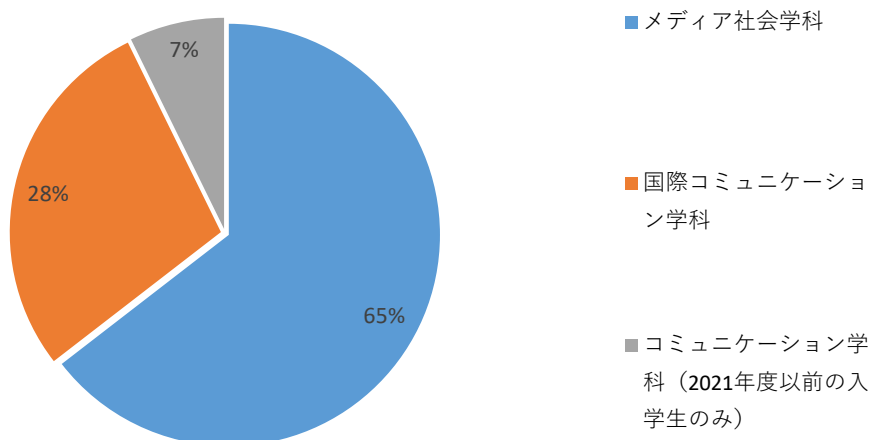
設問2 あなたはコミュニケーション学部にどのような試験制度で入学しましたか。



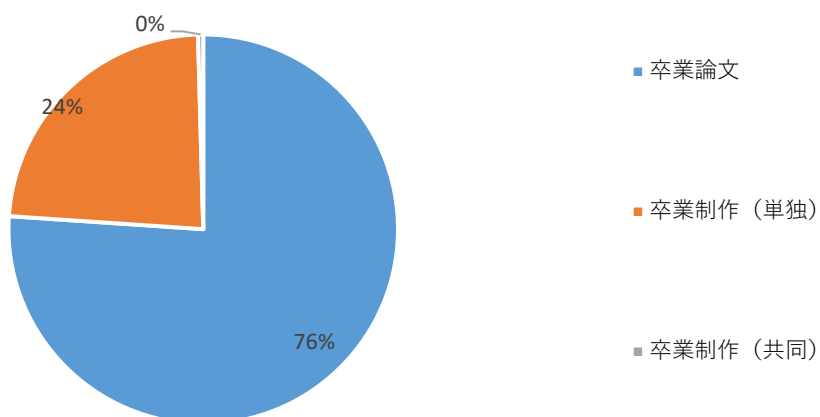
設問3 あなたの入学年度（編入学の方は編入学年度）はいつですか。



設問4 あなたはどの学科に属していましたか。

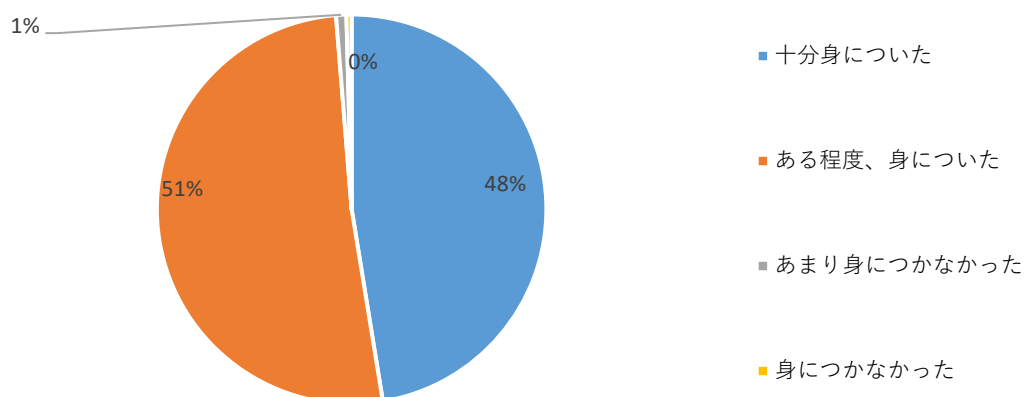


設問5 あなたは「卒業研究」をどの区分で提出しましたか。

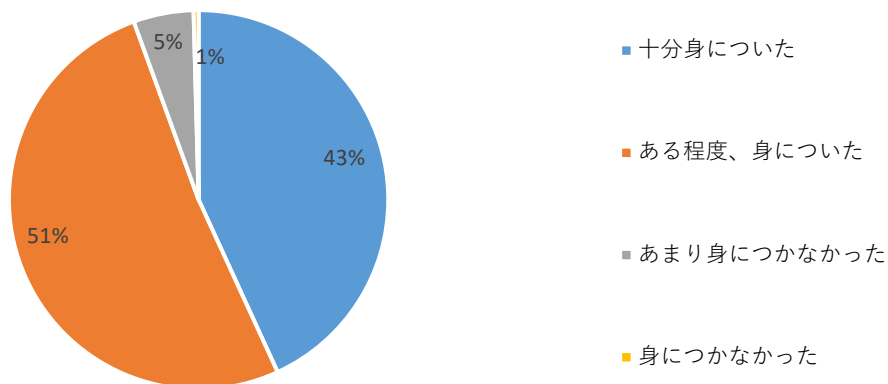


大学での学修を終えた現在のあなた自身の自己評価として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

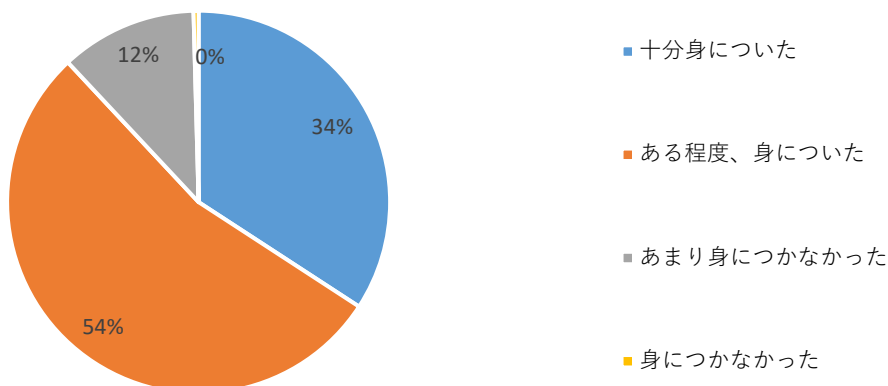
設問6 「人間・社会・言語・自然」についての教養



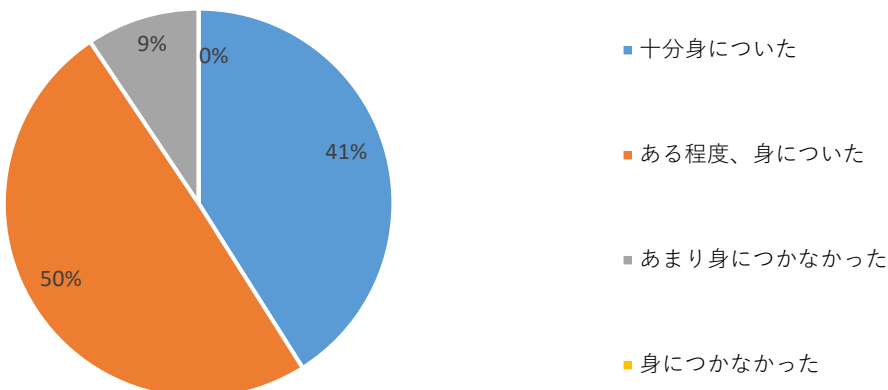
設問7 コミュニケーションを支えるメディアの特性を分析・評価する能力



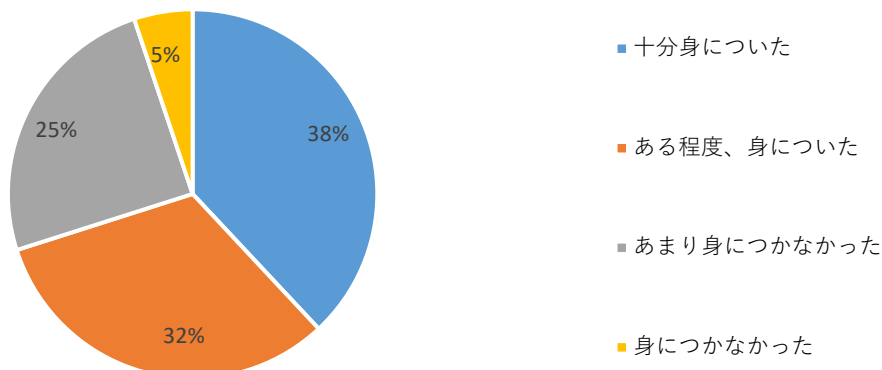
設問8 組織・企業におけるメディアの展開を分析・評価する能力



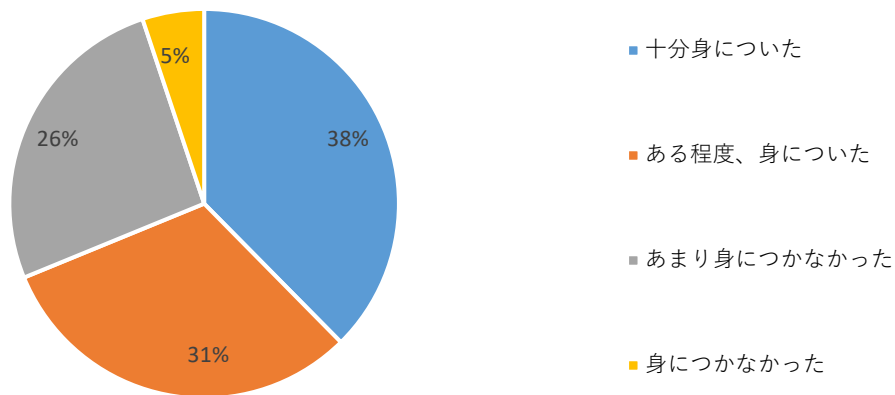
設問9 組織・企業におけるコミュニケーションを分析・評価する能力



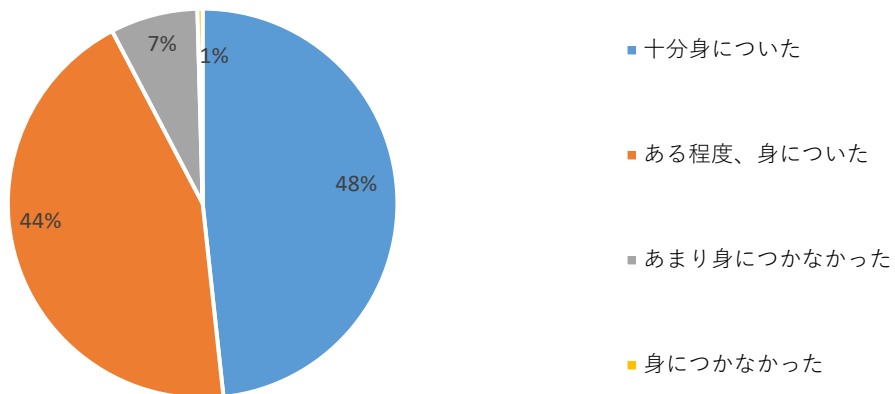
設問10 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他者との対話力



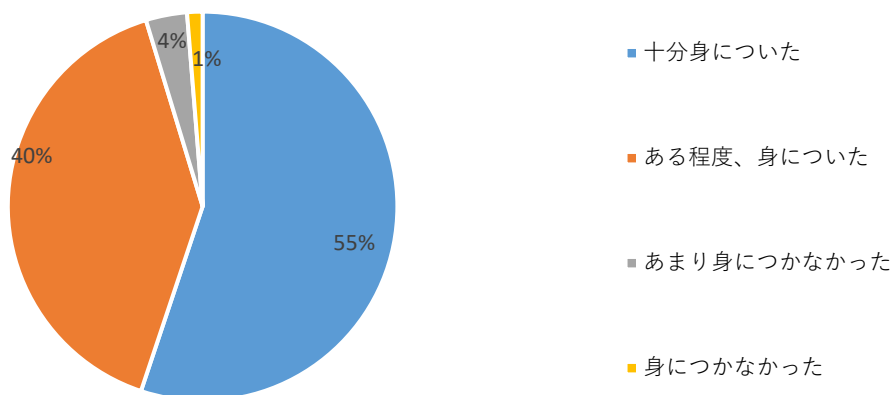
設問11 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他文化との対話力



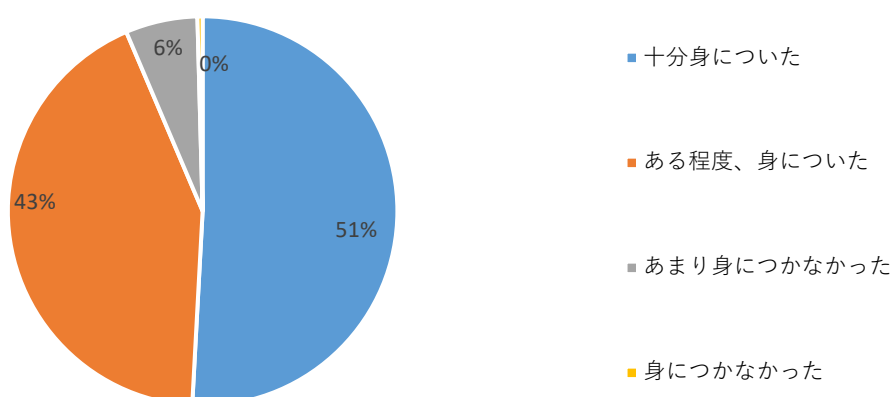
設問12 自らの考え・アイデアを創造的に表現する技能



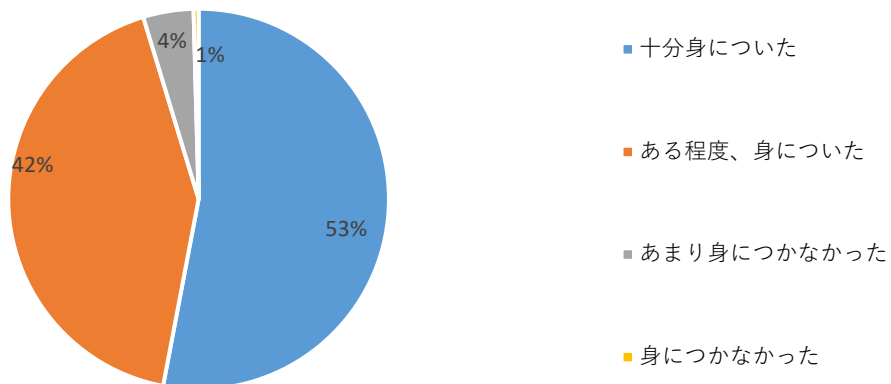
設問13 自らの考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能



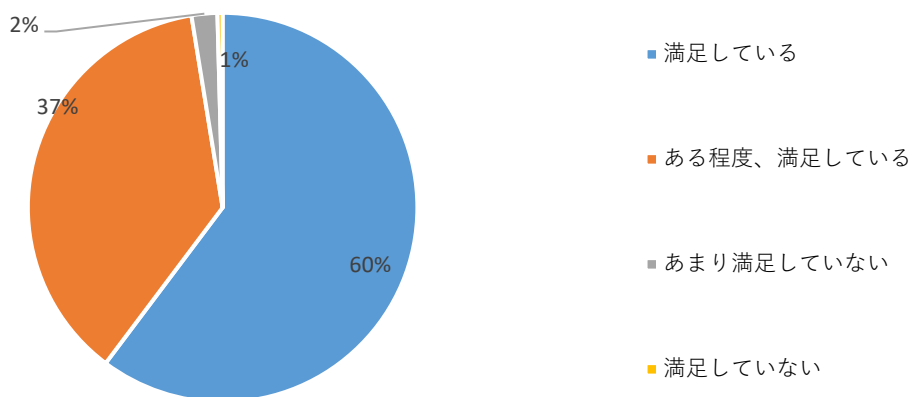
設問14 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を発見する能力



設問15 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を分析・解決する能力

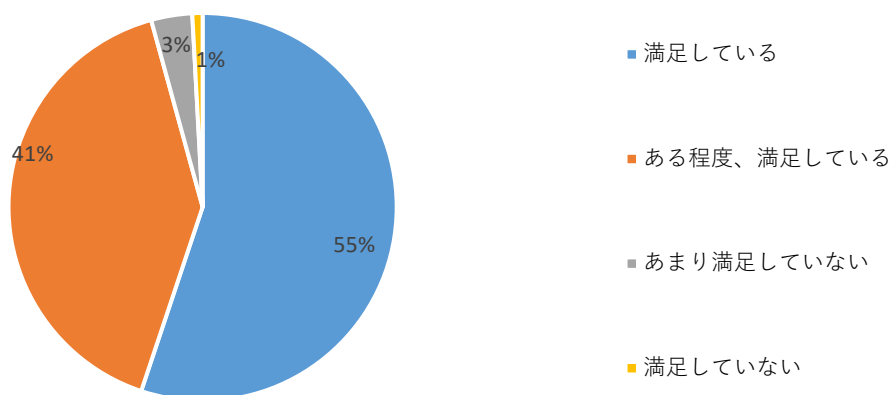


設問16 在学期間を振り返ってみて、あなたはコミュニケーション学部での学修にどの程度満足していますか。

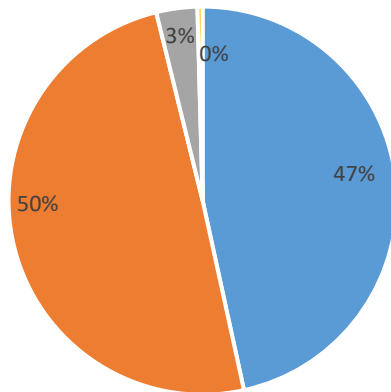


入学後の総合的な満足度として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

設問17 学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育

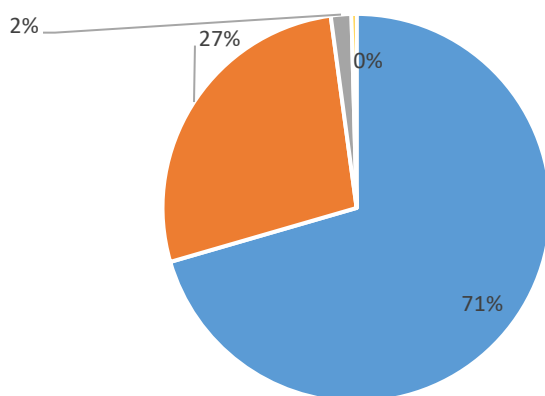


設問18 総合教育科目に関わる教育



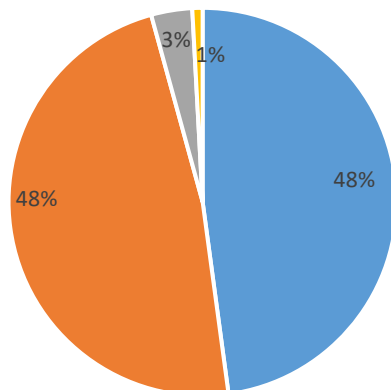
- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問19 「演習」



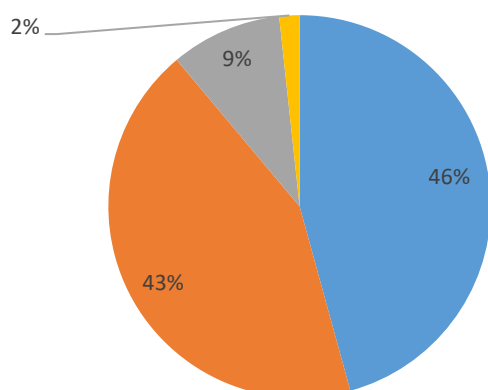
- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問20 カリキュラム全般



- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問21 就職活動支援

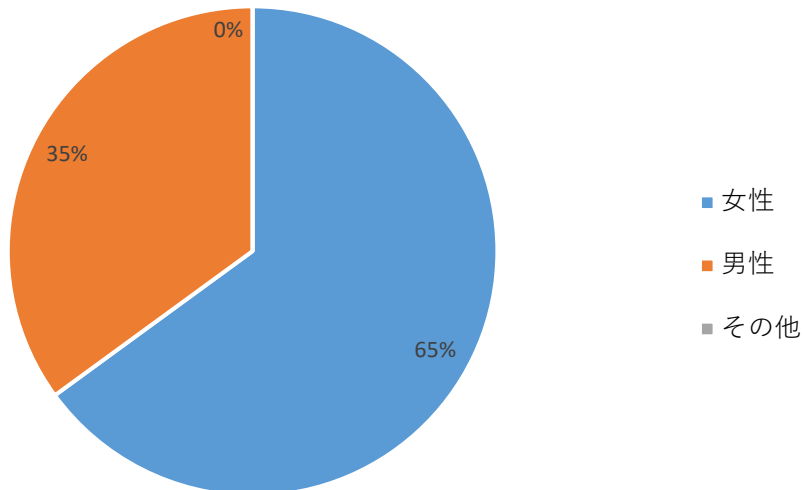


- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

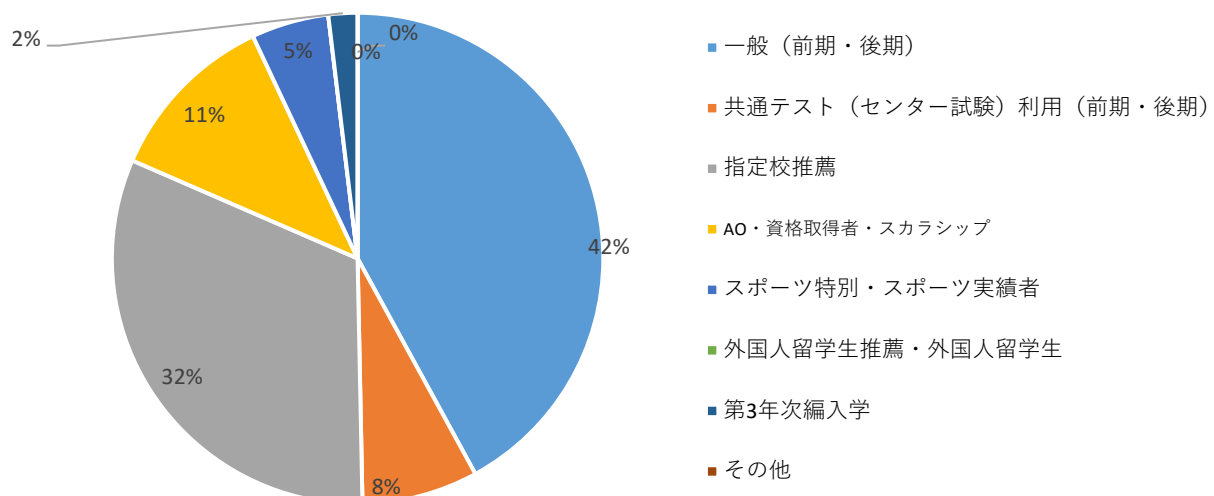
2025年度コミュニケーション学部メディア社会学科卒業時アンケート

調査対象： 2026年3月卒業生 164名
 調査実施期間： 2026年3月2日～3月31日
 回答数： 157件
 回答率： 95.7%

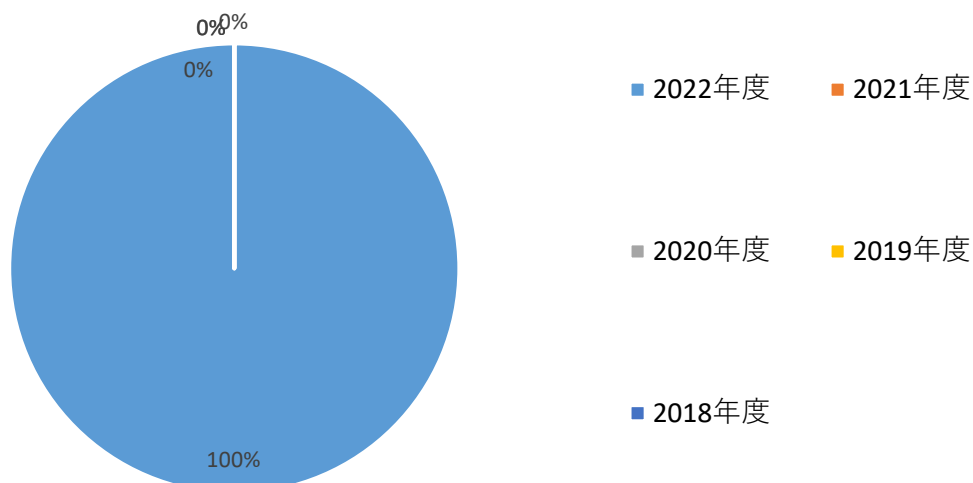
設問1 あなたの性別をお答えください。



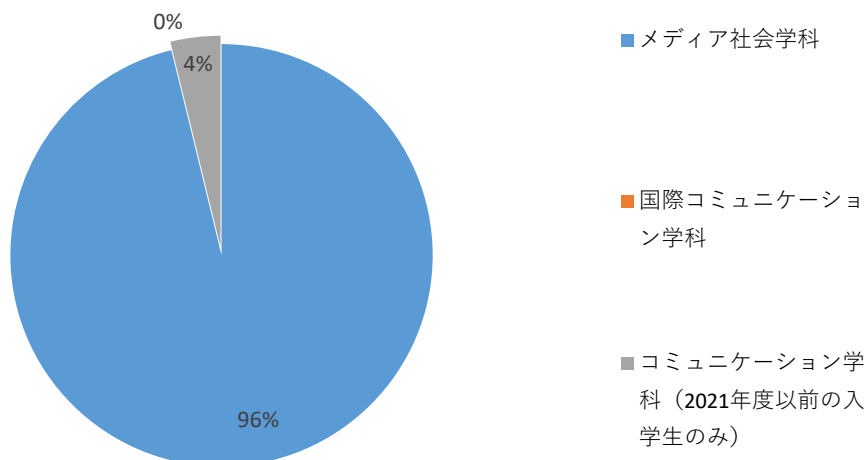
設問2 あなたはコミュニケーション学部にどのような試験制度で入学しましたか。



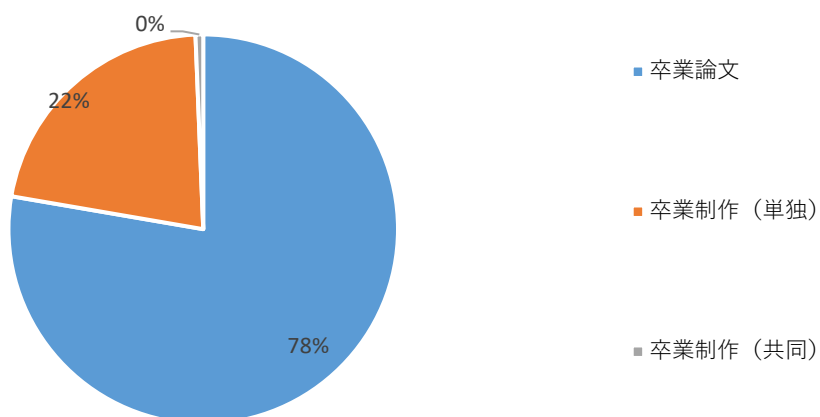
設問3 あなたの入学年度（編入学の方は編入学年度）はいつですか。



設問4 あなたはどの学科に属していましたか。

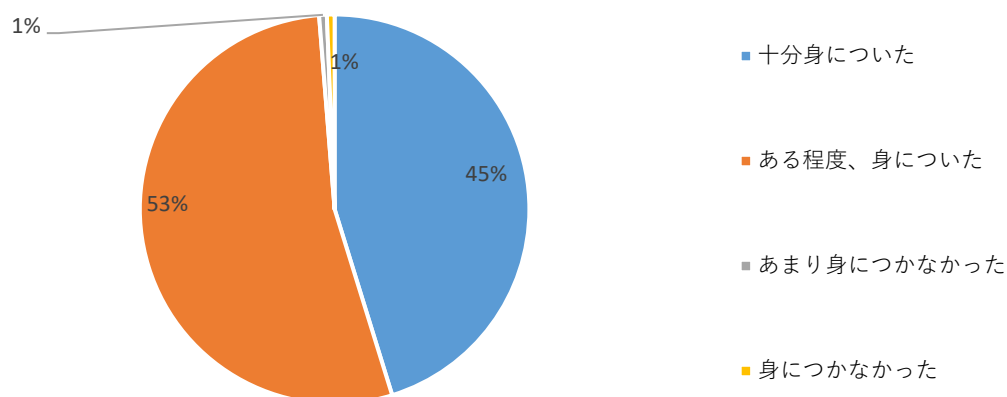


設問5 あなたは「卒業研究」をどの区分で提出しましたか。

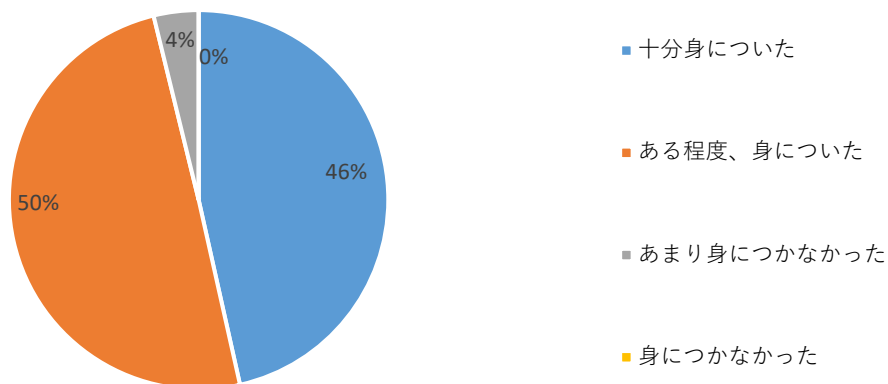


大学での学修を終えた現在のあなた自身の自己評価として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

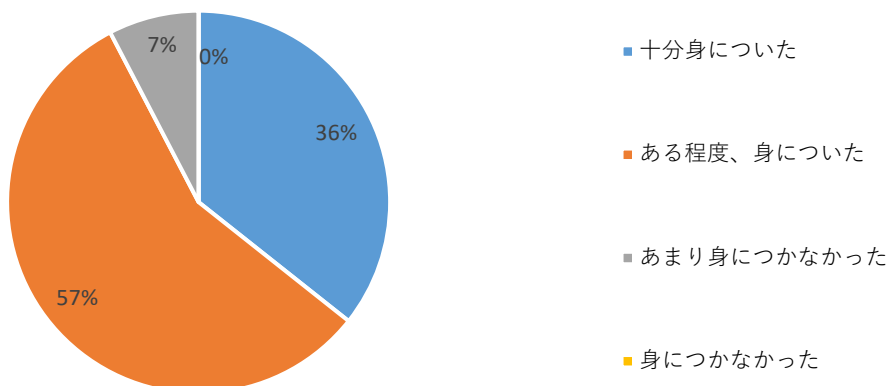
設問6 「人間・社会・言語・自然」についての教養



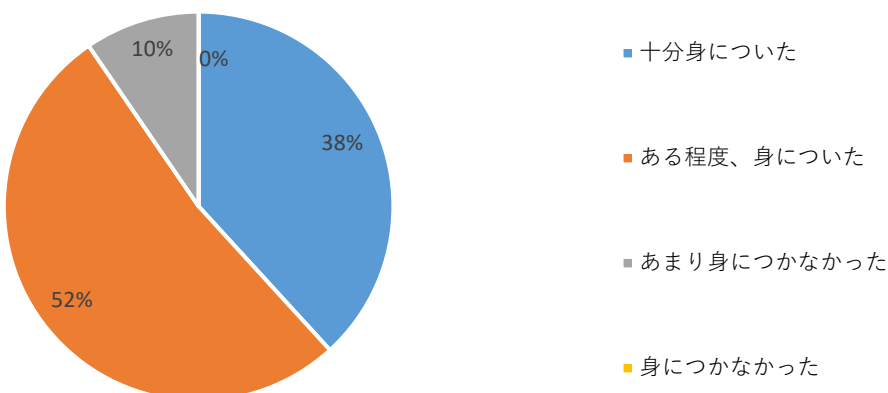
設問7 コミュニケーションを支えるメディアの特性を分析・評価する能力



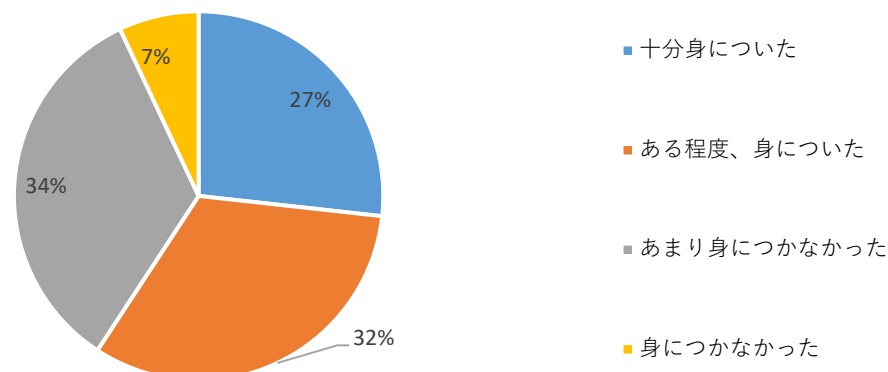
設問8 組織・企業におけるメディアの展開を分析・評価する能力



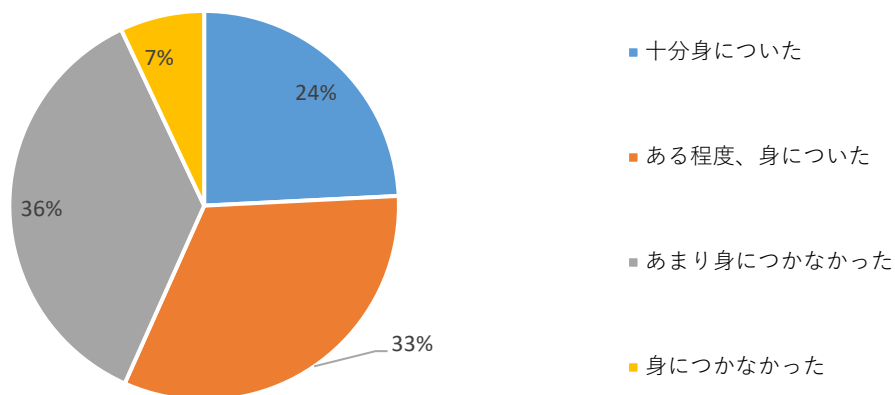
設問9 組織・企業におけるコミュニケーションを分析・評価する能力



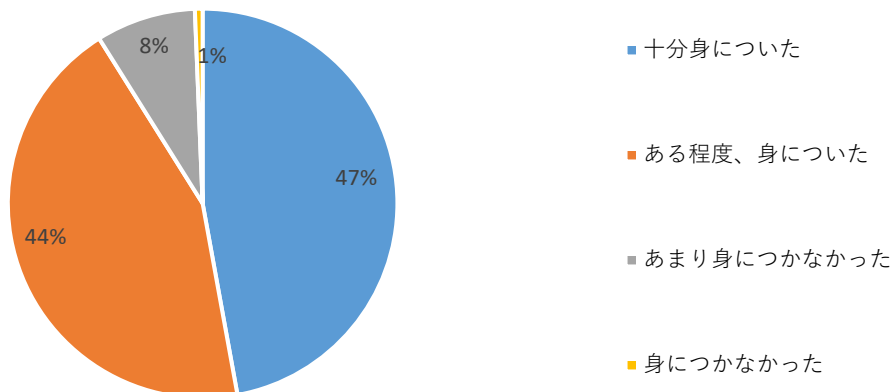
設問10 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他者との対話力



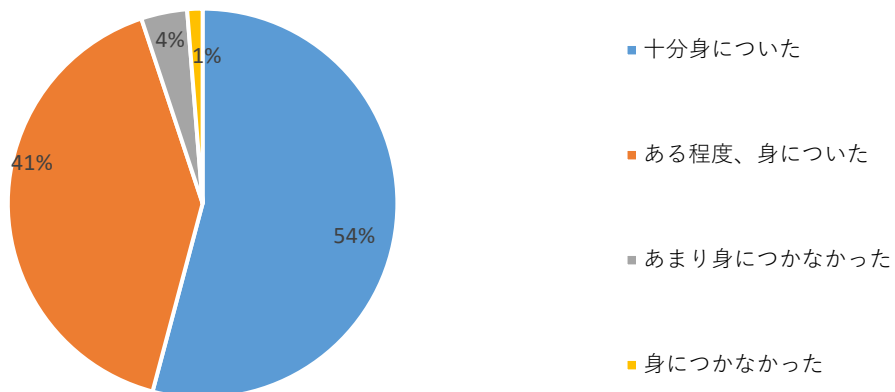
設問11 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他文化との対話力



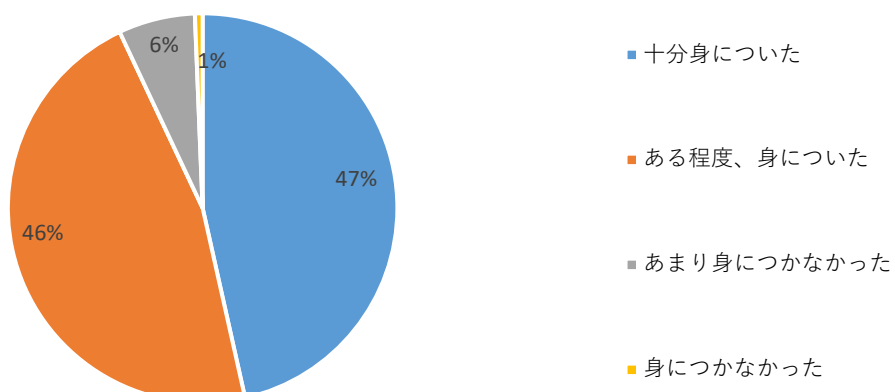
設問12 自らの考え・アイデアを創造的に表現する技能



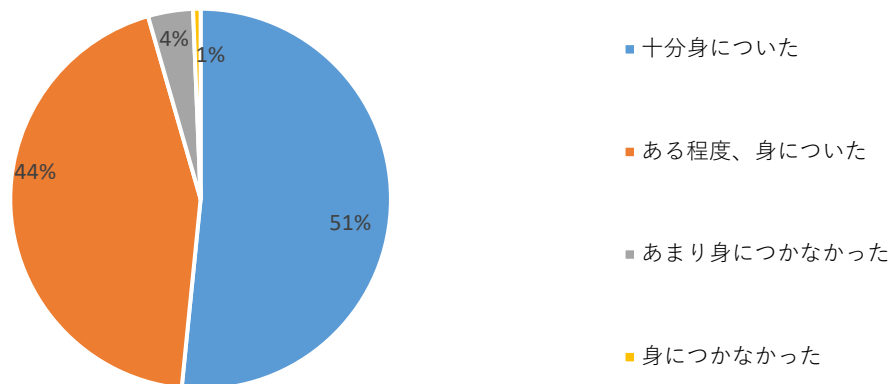
設問13 自らの考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能



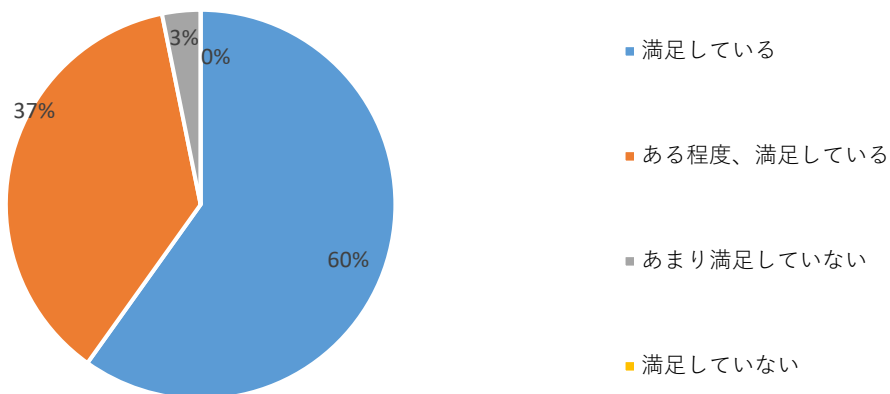
設問14 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を発見する能力



設問15 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を分析・解決する能力

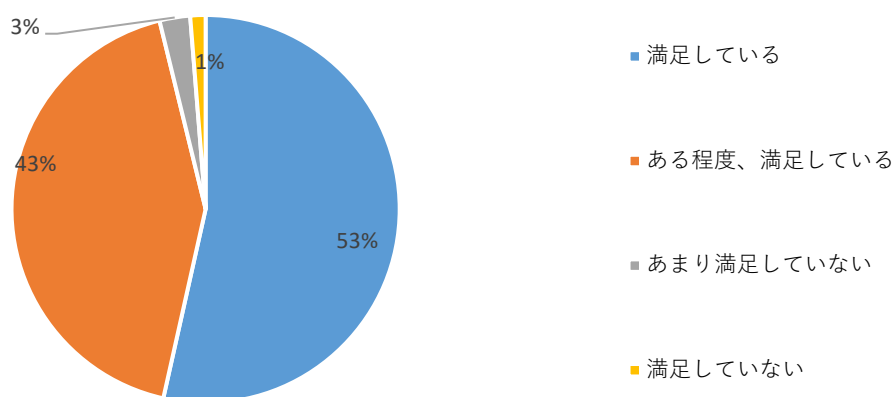


設問16 在学期間を振り返ってみて、あなたはコミュニケーション学部での学修にどの程度満足していますか。

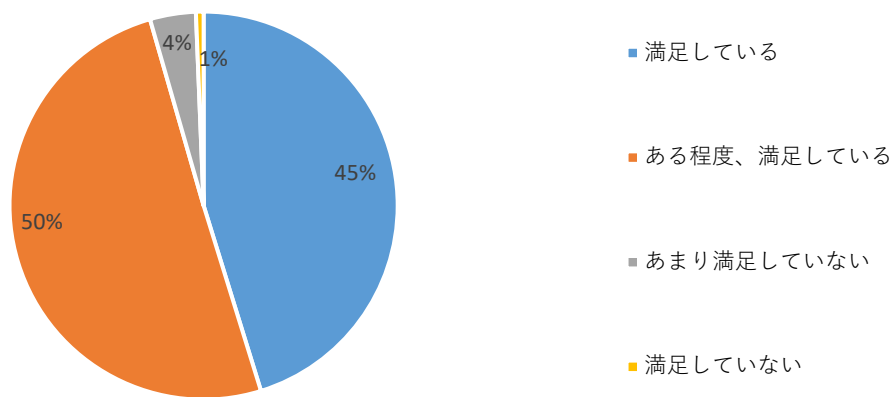


入学後の総合的な満足度として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

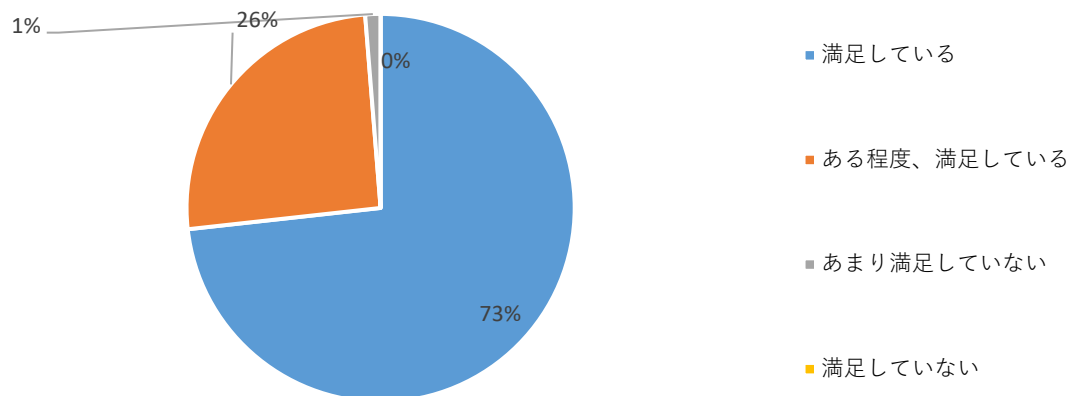
設問17 学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育



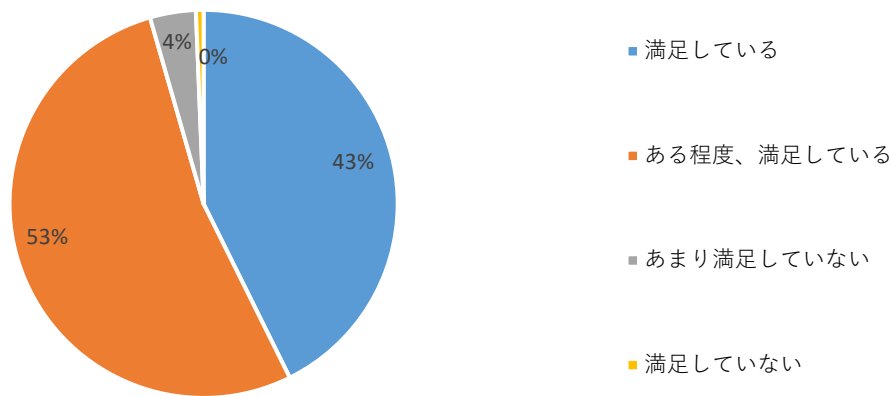
設問18 総合教育科目に関わる教育



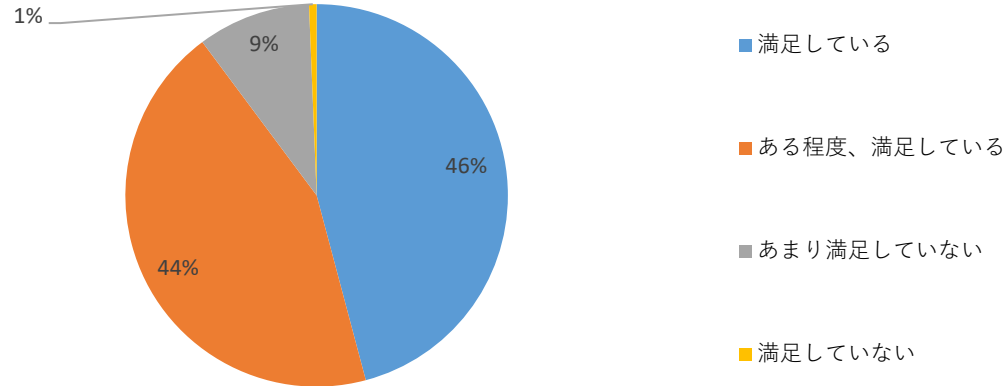
設問19 「演習」



設問20 カリキュラム全般



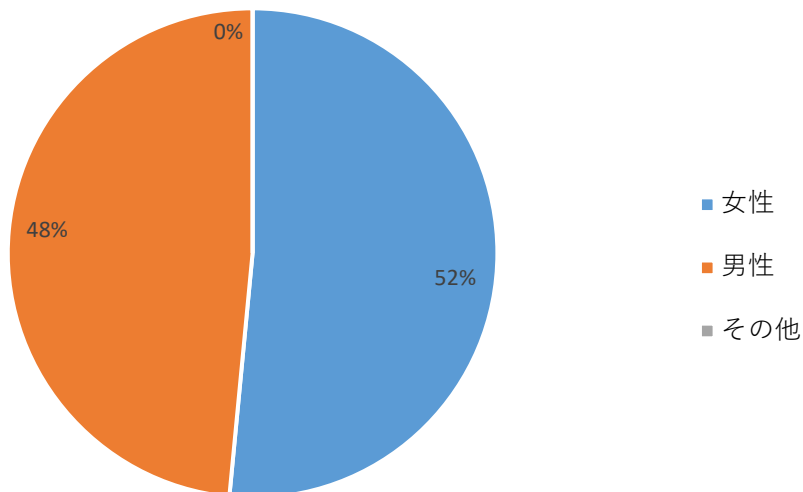
設問21 就職活動支援



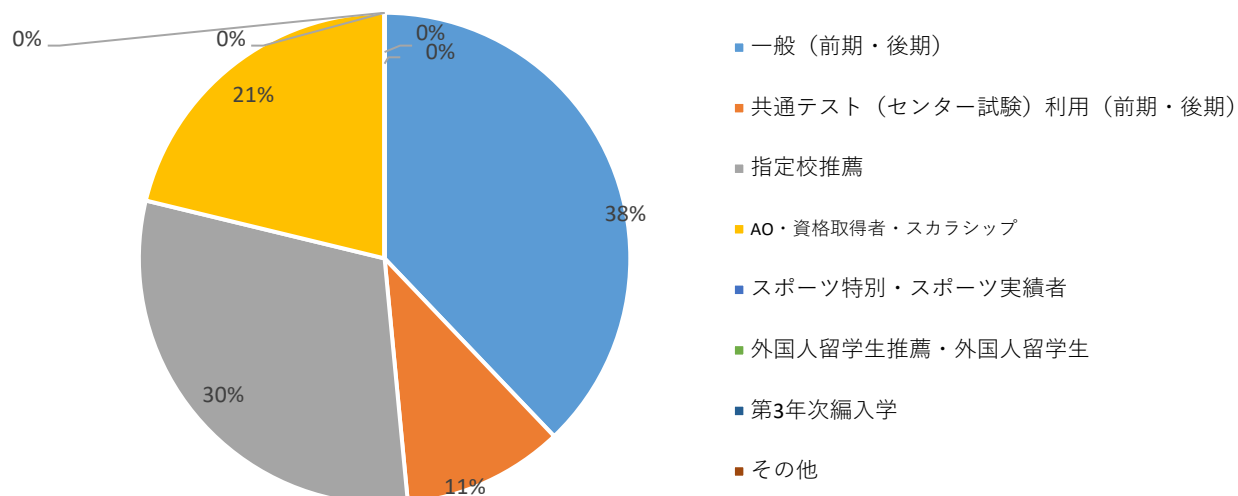
2025年度コミュニケーション学部国際コミュニケーション学科卒業時アンケート

調査対象： 2026年3月卒業生 70名
 調査実施期間： 2026年3月2日～3月31日
 回答数： 66件
 回答率： 94.3%

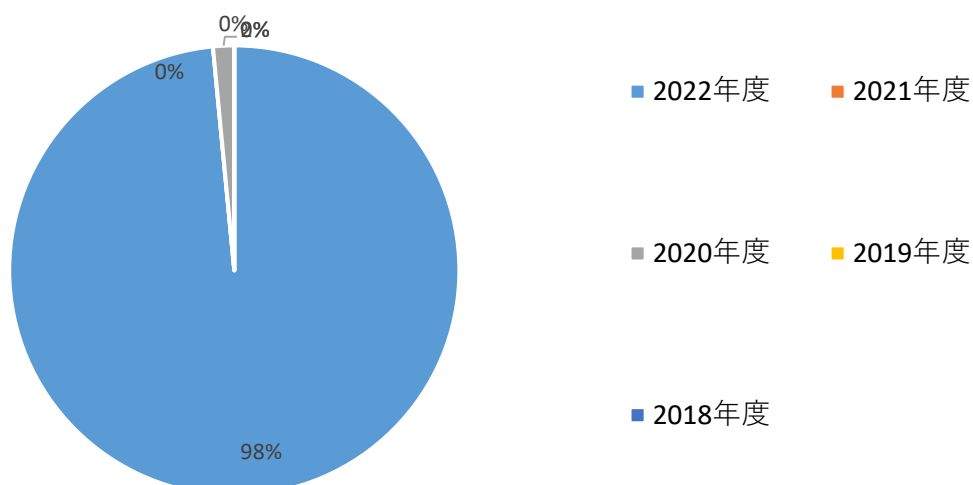
設問1 あなたの性別をお答えください。



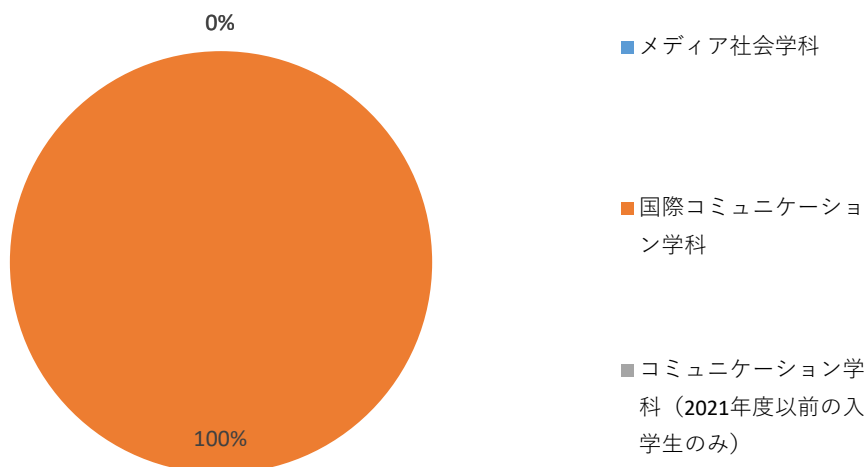
設問2 あなたはコミュニケーション学部にどのような試験制度で入学しましたか。



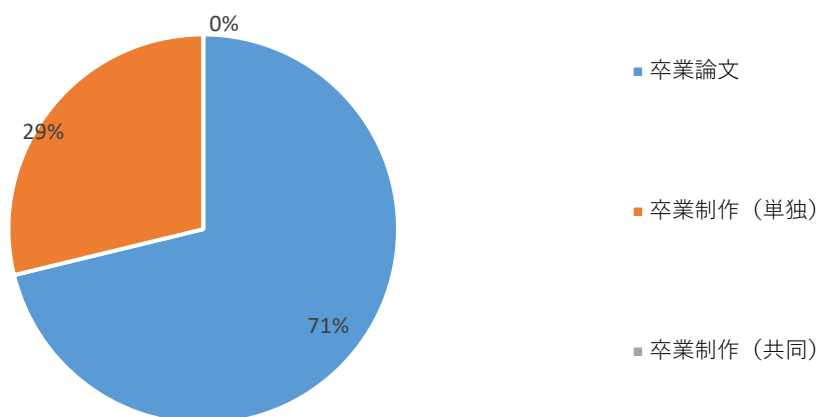
設問3 あなたの入学年度（編入学の方は編入学年度）はいつですか。



設問4 あなたはどの学科に属していましたか。

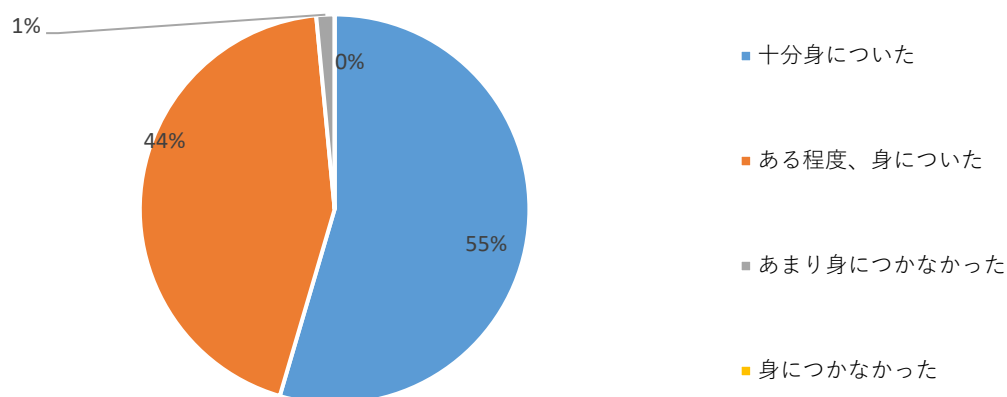


設問5 あなたは「卒業研究」をどの区分で提出しましたか。

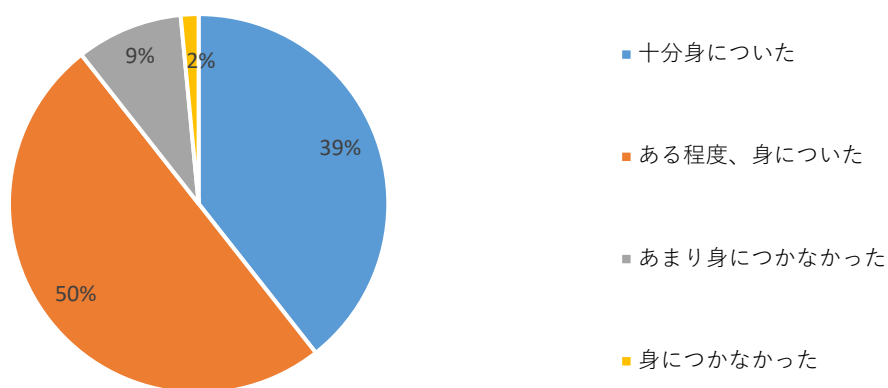


大学での学修を終えた現在のあなた自身の自己評価として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

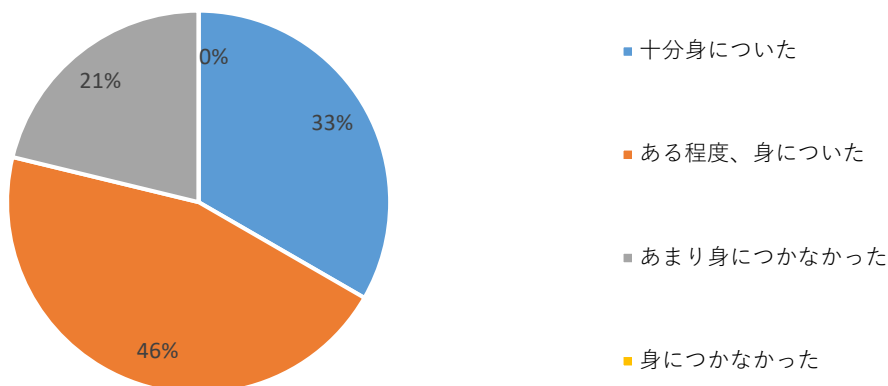
設問6 「人間・社会・言語・自然」についての教養



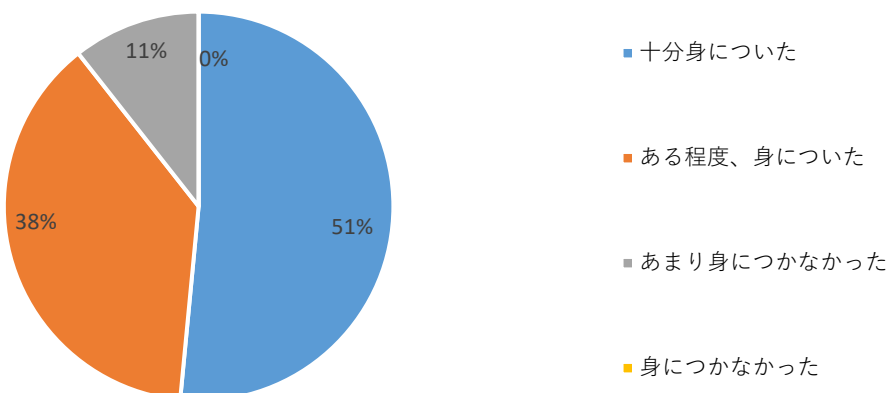
設問7 コミュニケーションを支えるメディアの特性を分析・評価する能力



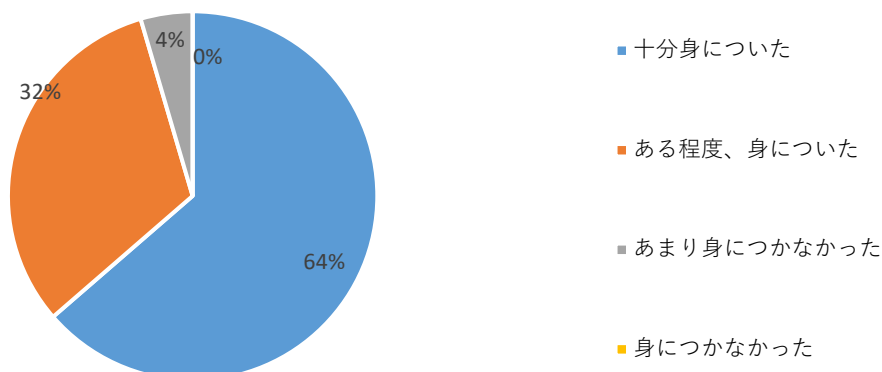
設問8 組織・企業におけるメディアの展開を分析・評価する能力



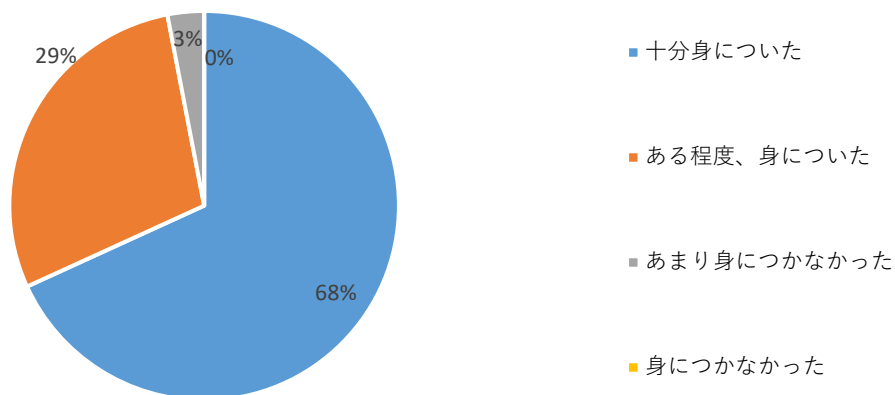
設問9 組織・企業におけるコミュニケーションを分析・評価する能力



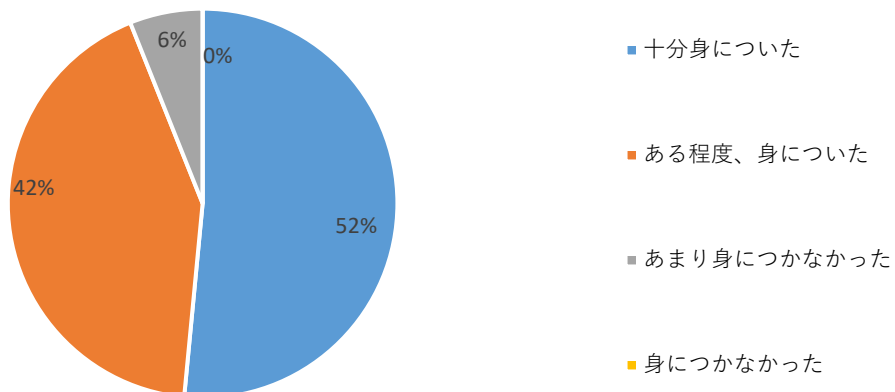
設問10 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他者との対話力



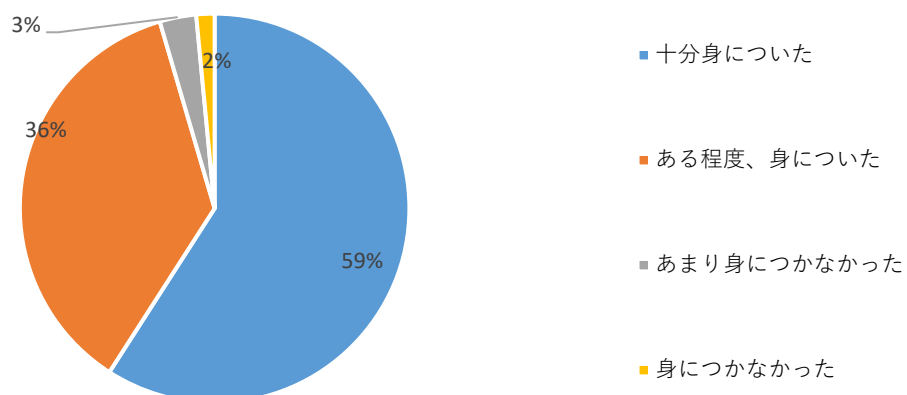
設問11 国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他文化との対話力



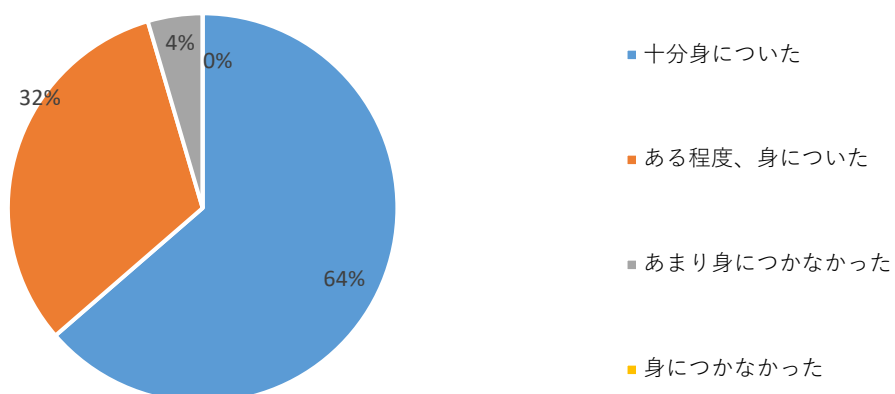
設問12 自らの考え・アイデアを創造的に表現する技能



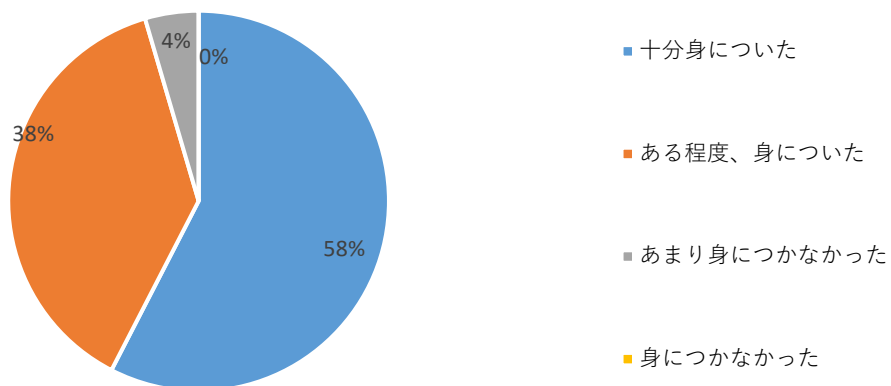
設問13 自らの考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能



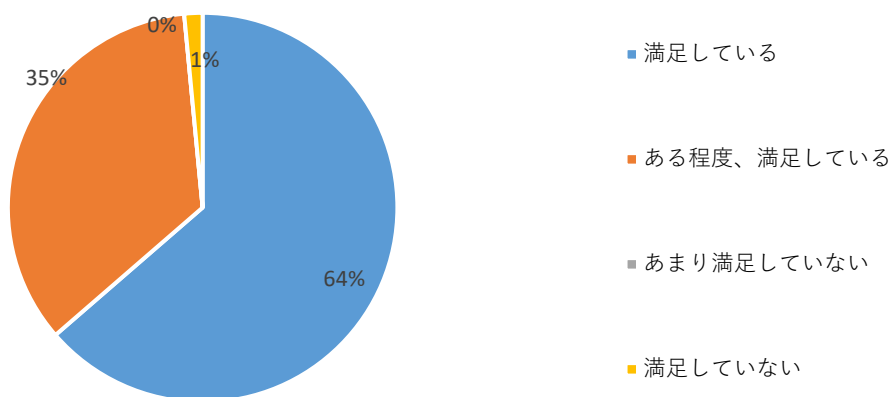
設問14 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を発見する能力



設問15 コミュニケーションに関わる事柄について、問題を分析・解決する能力

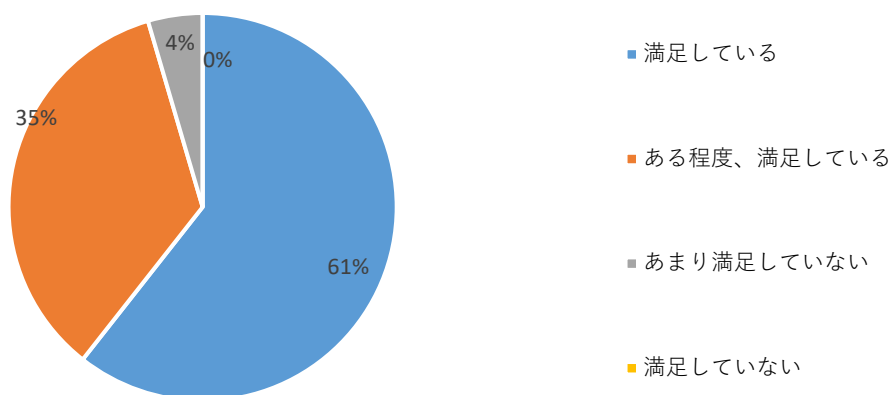


設問16 在学期間を振り返ってみて、あなたはコミュニケーション学部での学修にどの程度満足していますか。

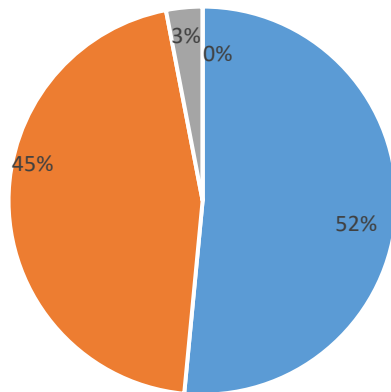


入学後の総合的な満足度として、以下のそれぞれの項目についてもっともよくあてはまる選択肢を1つずつ選んでください。

設問17 学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育

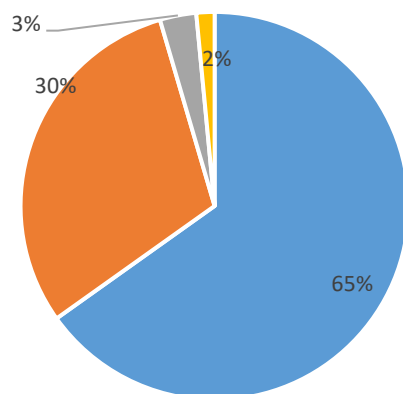


設問18 総合教育科目に関わる教育



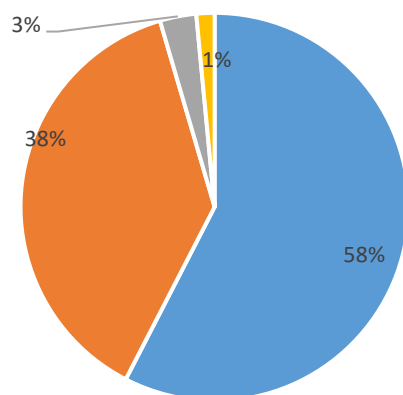
- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問19 「演習」



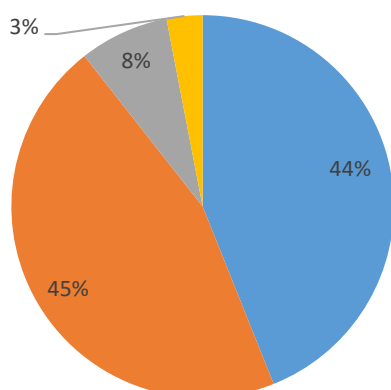
- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問20 カリキュラム全般



- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

設問21 就職活動支援



- 満足している
- ある程度、満足している
- あまり満足していない
- 満足していない

【分析編】

2025 年度卒業時アンケートは、2025 年度コミュニケーション学部卒業生を対象に、4 年間の学修成果（成長実感）について卒業時の認識を明らかにすることを目的に実施した。このアンケートは、9 月卒業生に対しては 2025 年 9 月 1 日～9 月 30 日、3 月卒業生に対しては 2026 年 3 月 2 日～3 月 31 日にオンラインで実施された。回答者数は、9 月卒業生 3 名、3 月卒業生 234 名（うちメディア社会学科生 157 名、国際コミュニケーション学科生 66 名、コミュニケーション学科生 11 名）、合計 237 名であった。回答率は 94.8%（237／250）であった。調査項目は、学部のディプロマ・ポリシー（以下、DP）に沿った形で作成されている。なお、2025 年度は 9 月卒業生と 3 月卒業生で DP が異なるため、別々にアンケート結果を集計した。これ以降は、3 月卒業生のアンケート結果について述べる。

まず、DP1「コミュニケーションの前提となる人間・社会・言語・自然についての教養の涵養」に対応する評価項目は、「人間・社会・言語・自然」についての教養である。教育課程上は、総合教育科目を中心に学修する内容である。3 月卒業生全体の集計結果では、「十分身についた」と回答した者が 48%、「ある程度、身についた」と回答した者が 51%であった。この 2 つを合計すると、ポジティブな自己評価を示した者が 99%と回答者の大多数を占めている。

DP2 は学科ごとに異なるため、学科別集計について述べる。メディア社会学科の DP2「コミュニケーションを支えるメディアの特性と、その組織・企業における展開を分析・評価する能力」に対応する評価項目は、「コミュニケーションを支えるメディアの特性を分析・評価する能力」「組織・企業におけるメディアの展開を分析・評価する能力」「組織・企業におけるコミュニケーションを分析・評価する能力」である。教育課程上は、学部共通科目の講義科目、展開科目を中心に学修する内容である。「コミュニケーションを支えるメディアの特性を分析・評価する能力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 96%であった。「組織・企業におけるメディアの展開を分析・評価する能力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 93%であった。「組織・企業におけるコミュニケーションを分析・評価する能力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 90%であった。いずれの項目についても極めて多くの学生が肯定的評価をした。

国際コミュニケーション学科の DP2「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における他者や他文化との対話力」に対応する評価項目は、「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他者との対話力」「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他文化との対話力」である。教育課程上は、学部共通科目の講義科目、展開科目を中心に学修する内容である。「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他者との対話力」については「十分身についた」「ある程度、

身についた」をあわせて 96%であった。「国境を越えた移動によりグローバル化の進む現代社会における、他文化との対話力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 97%であった。いずれの項目についても極めて多くの学生が肯定的評価をした。

DP3「自らの考え・アイデアを創造的に表現し、伝達していくコミュニケーション技能」に対応する項目は、「自らの考え・アイデアを創造的に表現する技能」「自らの考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能」である。教育課程上は、学部共通科目を中心に学修する内容である。3 月卒業生全体の集計結果では、「自らの考え・アイデアを創造的に表現する技能」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 92%であった。「自らの考え・アイデアを伝達していくコミュニケーション技能」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 95%であった。多くの学生がこれらの修得を達成したという自己認識があったことが確認できる。

DP4「コミュニケーションに関わる事柄について、問題の発見・分析・解決をする能力」に対応する項目は、「コミュニケーションに関わる事柄について、問題を発見する能力」「コミュニケーションに関わる事柄について、問題を分析・解決する能力」である。教育課程上は、学部共通科目の演習科目やワークショップ科目（調査系）を中心に学修する内容である。3 月卒業生全体の集計結果では、「コミュニケーションに関わる事柄について、問題を発見する能力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 94%であった。「コミュニケーションに関わる事柄について、問題を分析・解決する能力」については「十分身についた」「ある程度、身についた」をあわせて 95%であった。これらのことから、DP4 についても十分達成できていたと卒業生が自己評価したと判断できる。

また、入学後の総合的な満足度について、「学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育」「総合教育科目に関わる教育」「演習」「カリキュラム全般」「就職活動支援」の 5 項目を尋ねた。3 月卒業生全体では、肯定的回答（「満足している」「ある程度、満足している」の合計）は「学部の専門分野〔講義科目〕に関わる教育」で 96%、「総合教育科目に関わる教育」で 97%、「演習」で 98%、「カリキュラム全般」で 96%、「就職活動支援」で 89%であった。専門教育に対する満足度（学部の専門分野〔講義科目〕、演習）についてはどちらも高い満足度が示された。特に「演習」については、「満足している」の回答の割合が 71%であり、過年度同様に満足度は極めて高いことが分かった。

総括すると、2025 年度コミュニケーション学部卒業生の大多数が、コミュニケーション学部のディプロマ・ポリシーを 4 年間で達成したと自己評価したといえる。また、教育課程に対する満足度も非常に高い評価を得た。本アンケートは自己評価方式であり、卒業生の主観的認識にもとづく回答である点に留意することが必要であるが、2025 年度卒業生が高い学修成果を認識したことは注目に値する。